

家庭教育に関する調査報告書

2013年6月28日

調査報告書目次

与件

— P.3

調査概要

総論

調査結果サマリー

— P.5

家庭教育観

家庭教育観の形成要因

調査概要

調査目的	母親の家庭教育観を把握し、「薫化できる親になる」ことの促進策の考察につながる調査を行う。										
調査手法	インターネット調査（インテージ・ネットモニター使用）										
調査エリア	全国										
対象者	<p>【スクリーニング】 5000人(子どもの有無・長子年齢確認)</p> <p>【本調査】 子どもを持つ母親 900サンプル</p> <p>※対象除外業種・・・マスコミ・広告・新聞・放送業</p> <table border="1"><tr><td></td><td>女性</td></tr><tr><td>全体</td><td>900</td></tr><tr><td>【長子の成長段階別】</td><td></td></tr><tr><td>未就学児(0～小額就学前)</td><td>450</td></tr><tr><td>児童(小学校在学中)</td><td>450</td></tr></table>		女性	全体	900	【長子の成長段階別】		未就学児(0～小額就学前)	450	児童(小学校在学中)	450
	女性										
全体	900										
【長子の成長段階別】											
未就学児(0～小額就学前)	450										
児童(小学校在学中)	450										
	家庭教育における薫化の時期を幼少・学童期と捉えて、その段階の子どもを有する母親を対象とする。										
聴取項目	<p>30問</p> <ul style="list-style-type: none">・家庭教育のコンセプトに対する共感性、重要性、実践性、実践意向・家庭教育観の形成要因・属性										
調査期間	平成25年2月26日(火)～2月28日(木)										

小学生以下の母親の家庭教育観～「よく遊ばせ・夫婦仲良く・公平に」

家庭教育12コンセプトの中では、『よく遊ばせて育てる』『夫婦仲良く育てる』『公平に育てる』は、共感性、重要度、実践度、意向度のいずれの指標も高くなっている。

また、『子供は親の姿を映す鏡と思って育てる』『両親やご先祖様を大切に育てる』も、共感性、重要度、意向度は高いが、実践度がやや低くなっている。また、「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」「行き過ぎることなく育てる」などは実践度と意向度のギャップがやや大きく、実践が難しいことが伺える。

一方、『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」』『教師を尊敬して育てる』『無償の愛を持って育てる』は、共感性、重要度、実践度、意向度のいずれの指標も低くなっている。

家庭教育観の形成要因～「ことある毎に自らの心を正して子どもと接している」意識的な取組と夫婦関係と

家庭教育観の実践度(合計得点)ともっとも相関が強い(≒影響が強い)のは、「ことある毎に自らの心を正して子どもと接している」や「意識して良い教育観を保持できるようにしている」など、意識的な取組によるものである。次いで相関が強いのは「夫婦仲は良い方だ」や「パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている」など、現在の夫婦関係である。

家庭教育観は、生い立ちや過去に受けた教育の影響を受けながらも、親本人による意識的な取組や、夫婦関係によっても大きな影響を受けていることがうかがえる。



調査結果サマリー

家庭教育観

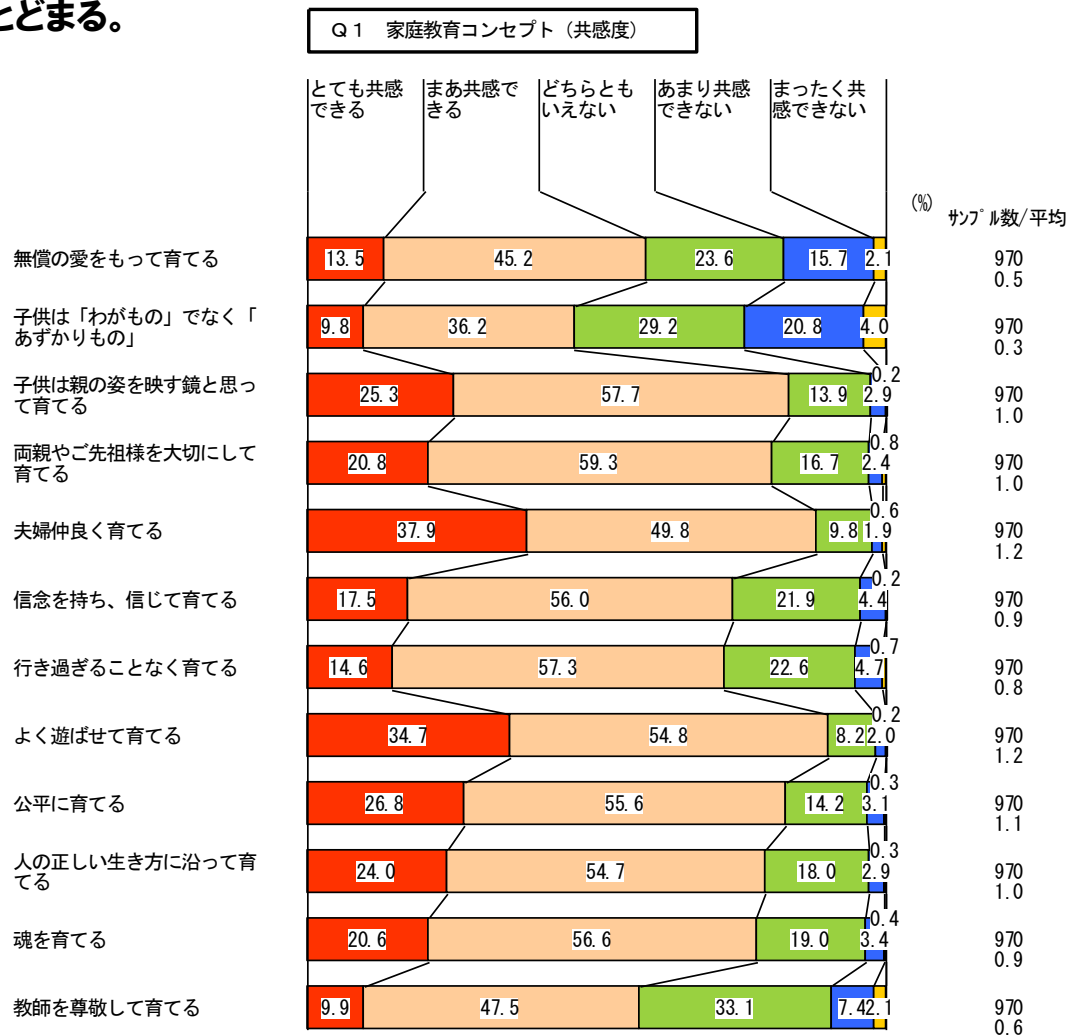
家庭教育観について12のコンセプトを設定し、下記の説明文を付してそれぞれの個人的共感度、社会的重要度、実践度、実践意向度を聴取した。

①無償の愛をもって育てる	すべてをただ与える、何も求めない、無償の愛情。女神さまのような慈愛、強く正しい、大きな愛情を持って子供に接することが大切です。中途半端で弱々しい愛情はいけません。
②子供は「わがもの」ではなく「あずかりもの」として育てる	子供をわがものと思うから、子供に対し不足不満が絶えない。ああして欲しい、こうなって欲しいと望みをかけ過ぎて結果が反対になる。子供は世にもまれな宝、生きたあずかりものと考えべきです。
③子供は親の姿を映す鏡と思って育てる	子供を何とか直したいと苦心して叱ったり、手を尽くしても効果がない。考えを変えて、子供に親の姿が反映していると思って自分の心や行いを改めてみる。子供を変えるよりも自分を変える方が簡単なのです。
④両親やご先祖様を大切に育てる	両親を心から大切に喜ばせ、いたわり、子供に親孝行の手本を見せることが大切です。老人や目上の人への優しい心そのまま移って、素直なのびのびとした子供になります。
⑤夫婦仲良く育てる	妻は夫に、夫は妻にそれぞれ、行いを正しく、優しい心を持って対すること。真心から朗らかに、男女というまったく異なる個性が互いに補い支え合って暮らすこと。ここに健やかな子供が育ちます。
⑥信念を持ち、信じて育てる	「この子は弱いから、強い子にしたい」と「弱い子」と決めつけるといよいよ弱くなってしまいます。強い子にしようと思うなら「きっと強い子になる」と信じて育てることが大切です。
⑦行き過ぎることなく育てる	要らぬ心配、おせっかい。過ぎることは避けなくてはなりません。子供に何かを「させよう」「させまい」とする自分中心の心を捨てて子供の人格を信じて任せておけば、子供は希望通りに育ちます。
⑧よく遊ばせて育てる	遊びは子供の生活の全部です。遊んで知恵が付き、遊んで仲良くなり、家の中を世の中を明るくします。遊びのほかに子供の自由の世界はないと深く心に刻み、子供の自由を守ってあげましょう。
⑨公平に育てる	子供への心遣いの第一は公平ということです。どの子についても一様に、甲乙のない愛情を注がなくてはなりません。ただ与え、何も求めない愛の本質は絶対平等なものです。偏ってはなりません。
⑩人の正しい生き方に沿って育てる	子供にとって何よりも大切なことは「人間の正しい生き方」を知ること。親や周囲の者がそれを知り、それに向かって導かなければ、教育は海図なき羅針盤なき航海に等しいものになってしまいます。
⑪魂を育てる	学校は万能ではない。技能や知識の教育はできても「人の道」を教えることを学校に期待すべきではない。子供の素直で豊かな魂を育てることが親の役割、家庭教育の役割と信じて育てましょう。
⑫教師を尊敬して育てる	子供が先生に対して素直でない、生意気な態度を取るときは、きっと親が先生を尊敬していない。親が先生を尊敬することが、教育の出発であり、ゴールでもあります。先生を敬愛して育てましょう。

家庭教育観～共感度

家庭教育12コンセプトの中では、『よく遊ばせて育てる』『夫婦仲良く育てる』について「とても共感できる」が3割以上と高く、「とても共感できる」と「まあ共感できる」を合わせた割合(共感度)も9割近くを占める。

一方、『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの』『教師を尊敬して育てる』『無償の愛を持って育てる』の共感度は6割未満にとどまる。



家庭教育観～共感度、重要度、実践度、意向度

『よく遊ばせて育てる』『夫婦仲良く育てる』『公平に育てる』は、共感度、重要度、実践度、意向度のいずれの指標も高くなっている。また、『子供は親の姿を映す鏡と思って育てる』『両親やご先祖様を大切に育てる』は、共感度、重要度、意向度は高いが、実践度がやや低くなっている。

一方、『子供は「わがもの」でなく「あずかりもの』『教師を尊敬して育てる』『無償の愛を持って育てる』は、いずれの指標も低くなっている。

■家庭教育観の共感度・重要度・実践度・意向度

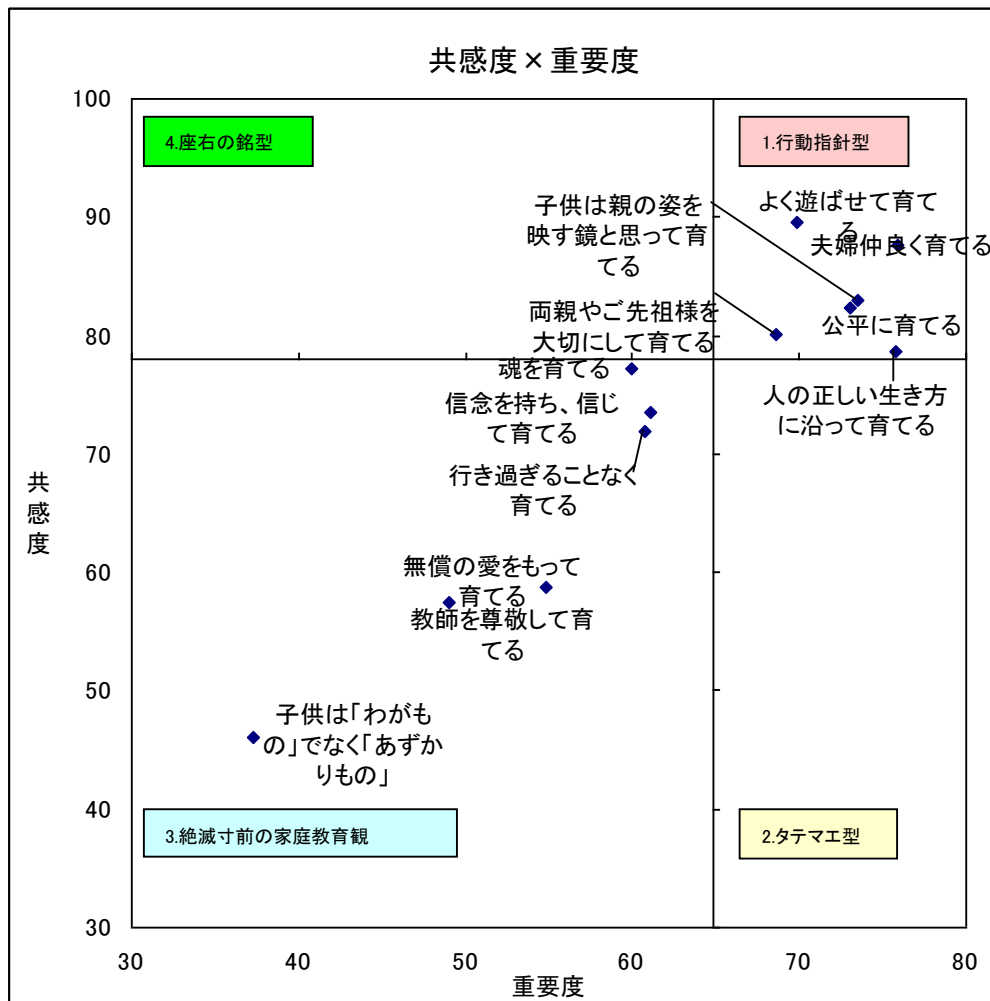
(%)

	N	共感度	重要度	実践度	意向度
無償の愛をもって育てる	970	58.7	54.8	51.6	73.5
子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」	970	46.0	37.3	30.3	62.3
子供は親の姿を映す鏡と思って育てる	970	83.0	73.5	57.0	88.3
両親やご先祖様を大切に育てる	970	80.1	68.6	60.5	85.4
夫婦仲良く育てる	970	87.7	75.9	65.2	85.8
信念を持ち、信じて育てる	970	73.5	61.1	52.6	80.1
行き過ぎることなく育てる	970	71.9	60.7	49.5	83.0
よく遊ばせて育てる	970	89.5	69.9	72.5	90.2
公平に育てる	970	82.4	73.1	64.4	85.9
人の正しい生き方に沿って育てる	970	78.7	75.8	68.1	86.8
魂を育てる	970	77.2	60.0	52.4	78.1
教師を尊敬して育てる	970	57.4	49.0	47.1	69.2
平均値	—	73.8	63.3	55.9	80.7

※網掛け: 黄色は平均値より5ポイント以上高い、青色は5ポイント以上低い

家庭教育観

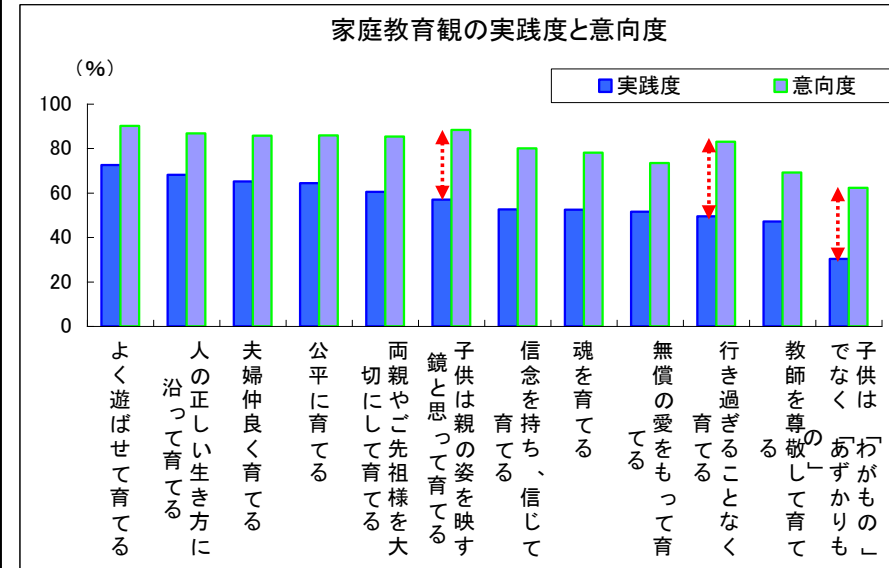
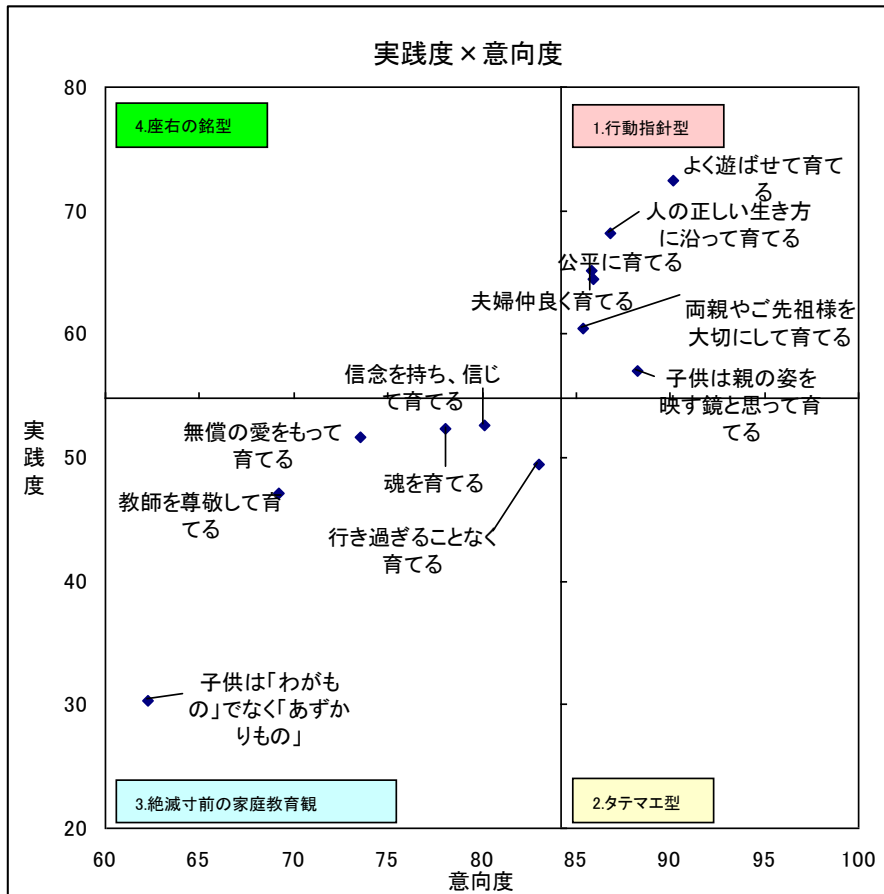
(個人的)共感度と(社会的)重要度はほぼ正比例の関係にあり、共感度が高いものは重要度も高い。
 家庭教育12のコンセプトの中では「よく遊ばせて育てる」「夫婦仲良く育てる」「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」「公平に育てる」「両親やご先祖様を大切に育てる」が共有されているコンセプトといえる。



家庭教育観

実践度と意向度もほぼ正比例の関係にあり、「よく遊ばせて育てる」「夫婦仲良く育てる」「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」「公平に育てる」「両親やご先祖様を大切に育てる」はいずれも高い。

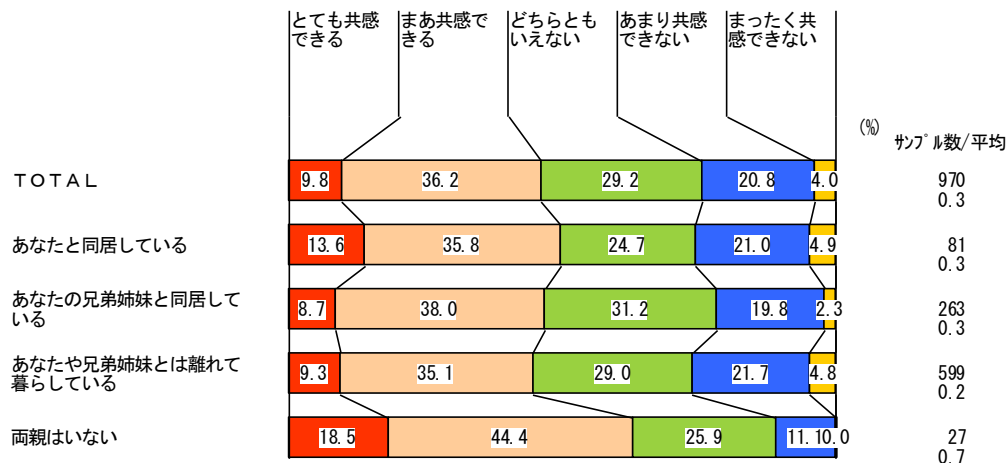
ただし、「子供は親の姿を映す鏡と思って育てる」は実践度と意向度のギャップがやや大きく、実践が難しいことが伺える。このほか「行き過ぎることなく育てる」「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」もギャップが大きい。



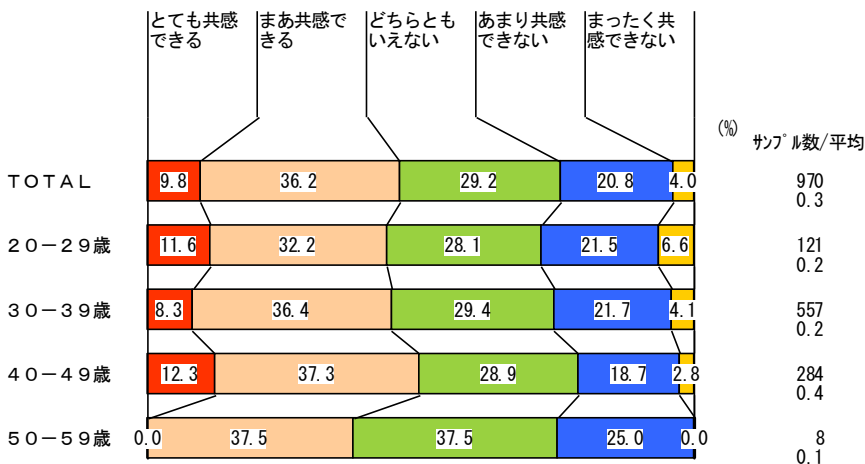
家庭教育観(子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」)

「子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」という家庭教育観の共感度は、年代が高い層や、両親がすでにいない層、多世代居住層などでやや高くなっている。

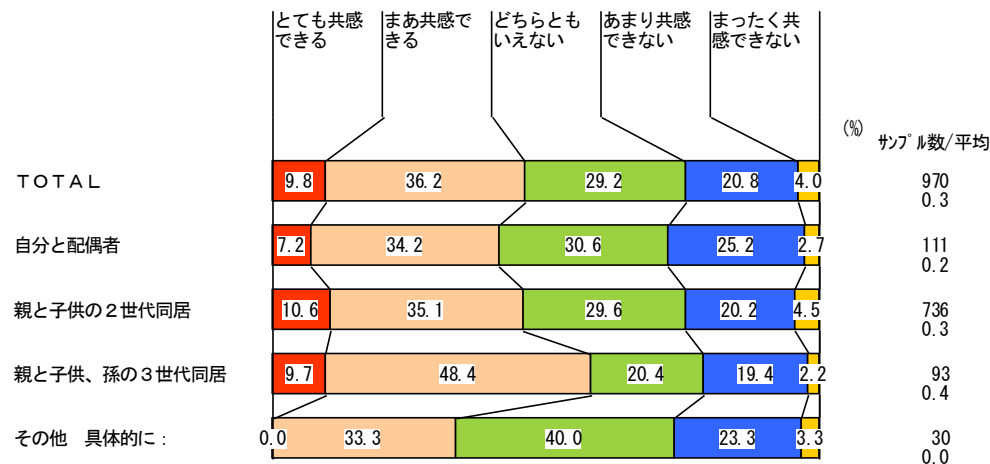
Q1 家庭教育コンセプト(共感度) 子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」と思う



Q1 家庭教育コンセプト(共感度) 子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」と思う

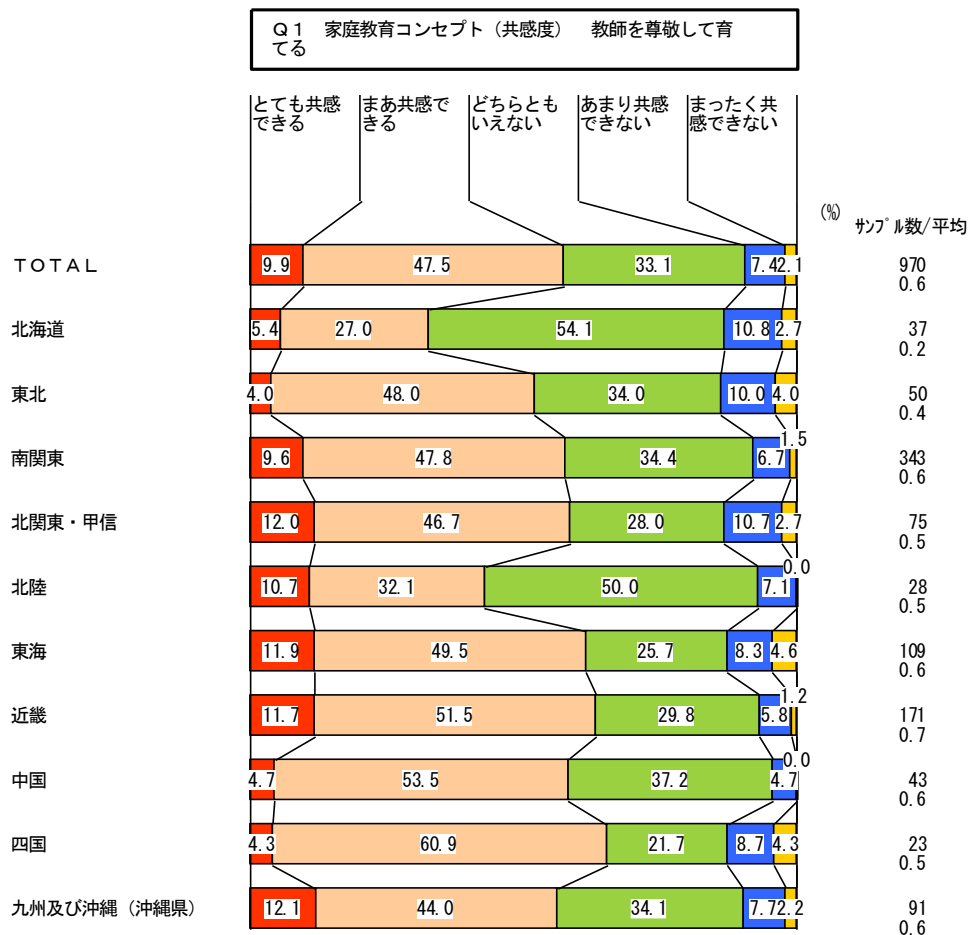
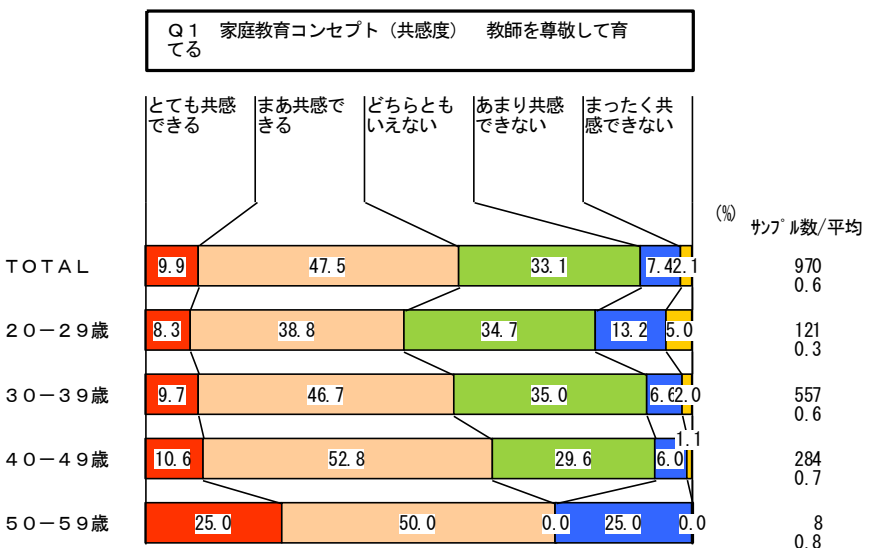
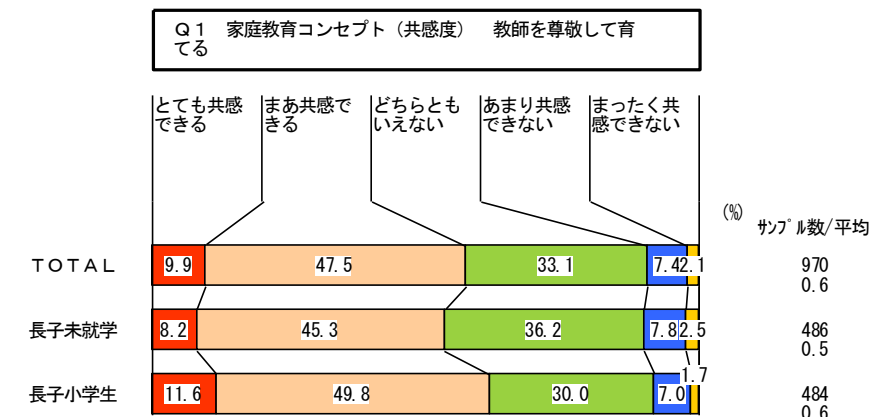


Q1 家庭教育コンセプト(共感度) 子供は「わがもの」でなく「あずかりもの」と思う



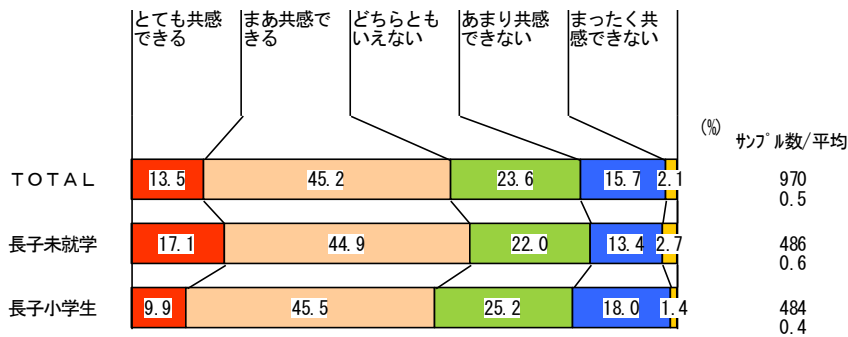
家庭教育観(教師を尊敬して育てる)

「教師を尊敬して育てる」という家庭教育観は、長子が小学生であったり、年代が高いほど共感度が高い。また、地域別にみると、どちらかといえば東海以西の方が共感度がやや高くなっている。



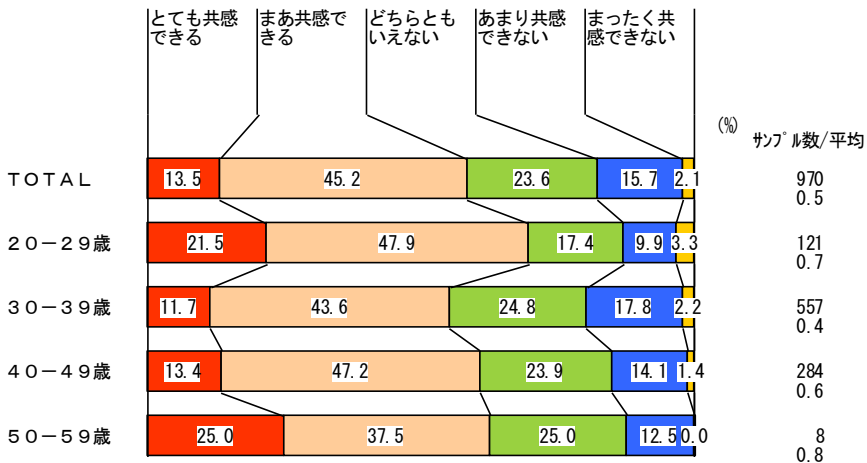
家庭教育観(無償の愛をもって育てる)

Q1 家庭教育コンセプト (共感度) 無償の愛をもって育てる

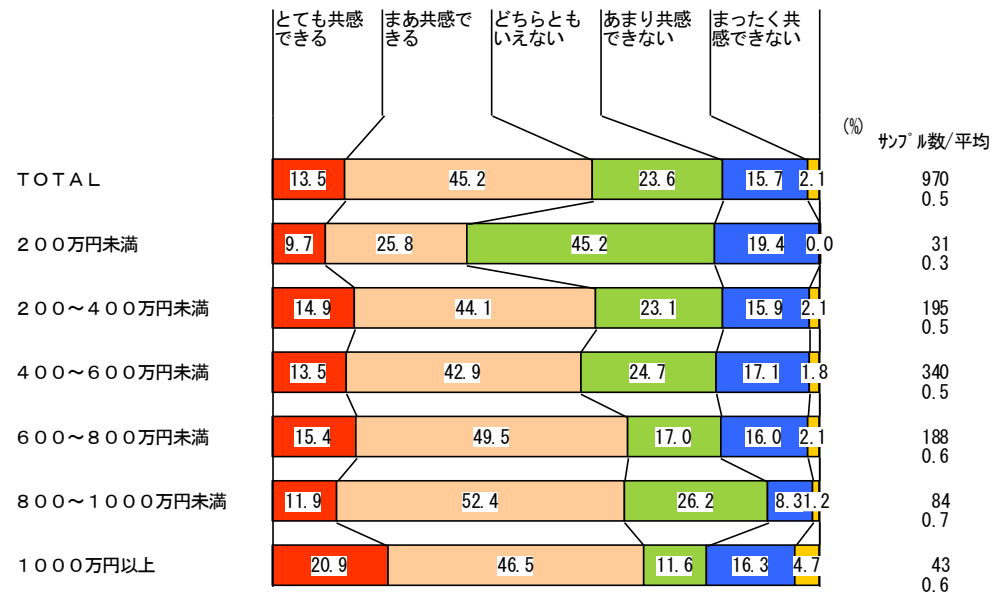


「無償の愛をもって育てる」という家庭教育観の共感度は、長子が未就学や年代の低い層でやや高くなっている。また、年収が高い層ほどやや共感度が高くなっている。

Q1 家庭教育コンセプト (共感度) 無償の愛をもって育てる

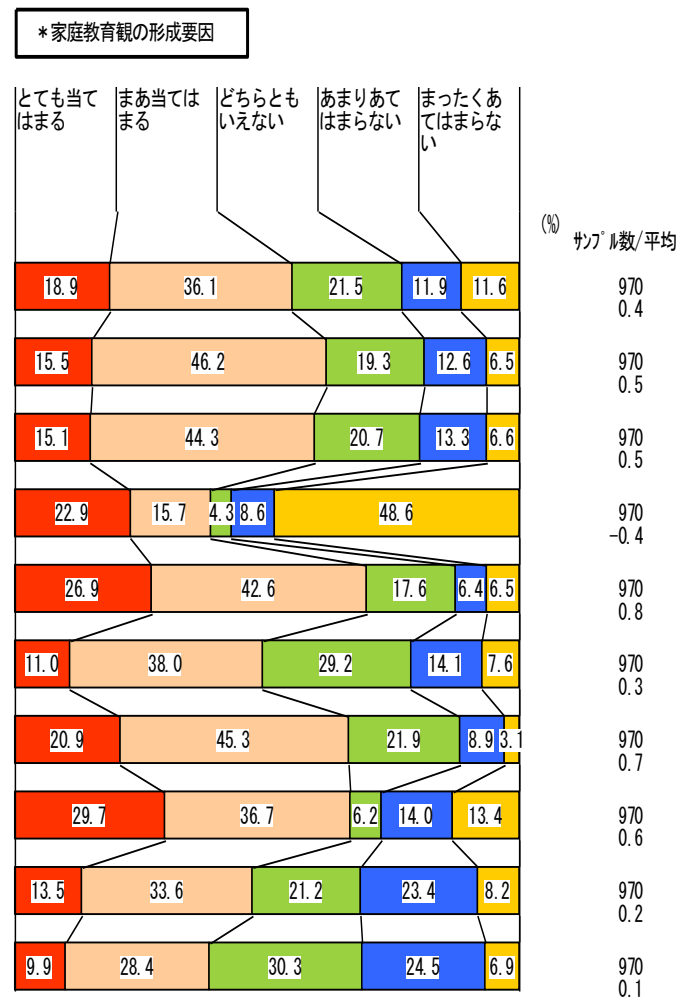
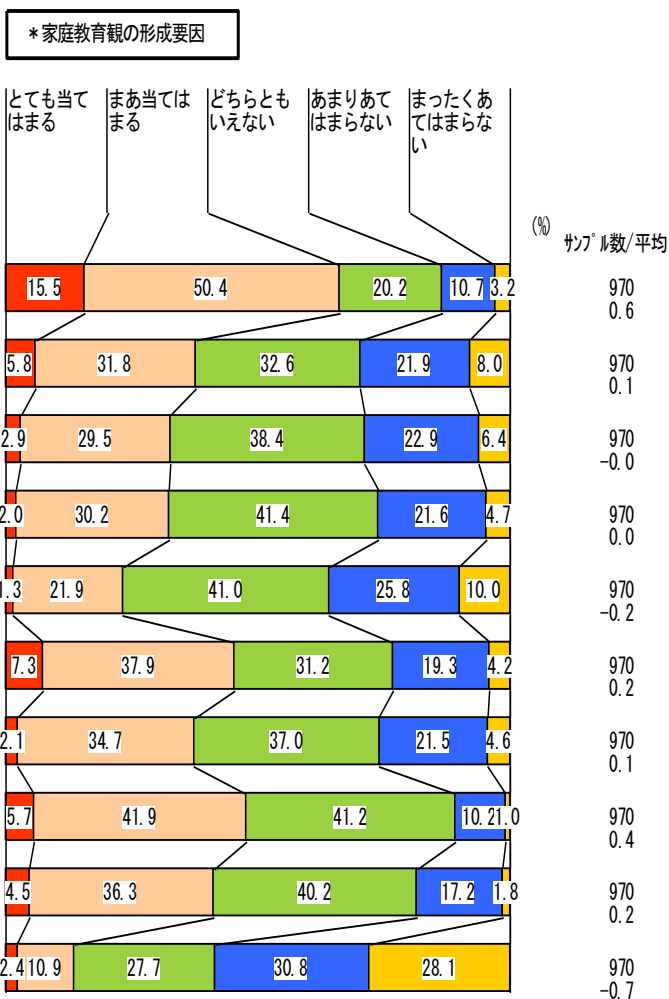


Q1 家庭教育コンセプト (共感度) 無償の愛をもって育てる



家庭教育観の形成要因

家庭教育観への影響要因や生き立ち等について、「自分の親の家庭教育観の影響を受けている」「自分のはのびのびと育てられた」「夫婦仲は良い方だ」「両親は祖父母を大事にしていた」「結婚前に赤ちゃんを抱いたことがある」については、6割以上が『当てはまる(とても+まあ)』と回答している。



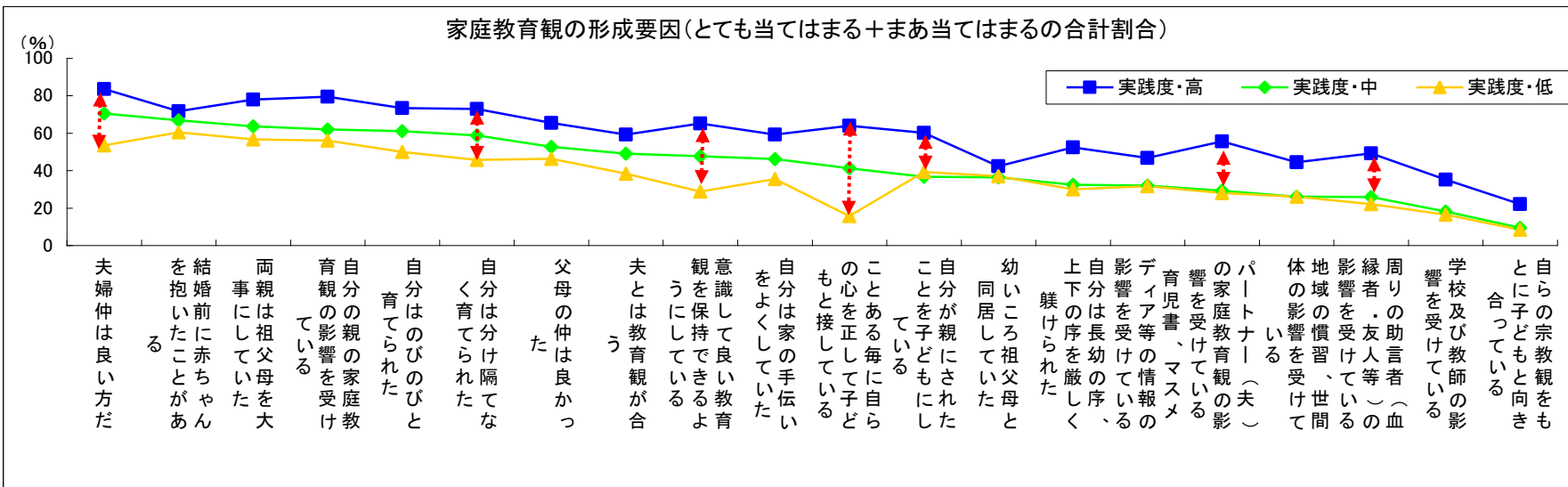
家庭教育観の形成要因

家庭教育観に影響を与えている要因を知るために、家庭教育観の実践度に対する回答結果に得点を与えて合計得点を算出し、各要因との相関を分析した。

実践度合計得点の高い層(家庭教育観・高)と、中・低層とで特に差が大きいのは、「ことある毎に自らの心を正して子どもと接している」「意識して良い教育観を保持できるようにしている」のほか、「夫婦仲は良い方だ」「自分は分け隔てなく育てられた」「パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている」「周りの助言者(血縁者・友人等)の影響を受けている」などである。

* 家庭教育観 (実践度合計得点による階層化)

	家庭教育観・低	家庭教育観・中	家庭教育観・高	(%) サンプル数/平均
TOTAL	30.9	36.0	33.1	970 6.4
長子未就学	29.0	36.0	35.0	486 7.0
長子小学生	32.9	36.0	31.2	484 5.8



家庭教育観の形成要因

家庭教育観の共感度(合計得点)と各要因との相関を分析したところ、もっとも相関が強い(≒影響が強い)のは、「ことある毎に自らの心を正して子どもと接している」や「意識して良い教育観を保持できるようにしている」など、意識的な取組によるものである。次いで相関が強いのは「パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている」「自分の親の家庭教育観の影響を受けている」である。

分類	項目	家庭教育観(共感度合計得点)との相関係数
意識	ことある毎に自らの心を正して子どもと接している	0.3087
意識	意識して良い教育観を保持できるようにしている	0.3015
関係	パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている	0.2238
経験	自分の親の家庭教育観の影響を受けている	0.2169
意識	自らの宗教観をもとに子どもと向き合っている	0.1972
関係	周りの助言者(血縁者・友人等)の影響を受けている	0.1867
結婚生活	夫婦仲は良い方だ	0.1815
経験	自分が親にされたことを子どもにしている	0.1798
関係	地域の慣習、世間体の影響を受けている	0.1791
その他	自分は長幼の序、上下の序を厳しく躰けられた	0.1708
生い立ち	自分は分け隔てなく育てられた	0.1666
その他	両親は祖父母を大事にしていた	0.1625
経験	育児書、マスメディア等の情報の影響を受けている	0.1539
生い立ち	自分のはのびのびと育てられた	0.1468
結婚生活	夫とは教育観が合う	0.1435
その他	自分は家の手伝いをよくしていた	0.1190
関係	学校及び教師の影響を受けている	0.1030
生い立ち	父母の仲は良かった	0.0934
その他	結婚前に赤ちゃんを抱いたことがある	0.0805
生い立ち	幼いころ祖父母と同居していた	0.0712

家庭教育観の形成要因

家庭教育観の実践度(合計得点)と各要因との相関を分析したところ、もっとも相関が強い(≒影響が強い)のは、「ことある毎に自らの心を正して子どもと接している」や「意識して良い教育観を保持できるようにしている」など、意識的な取組によるものである。次いで相関が強いのは「夫婦仲は良い方だ」や「パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている」など、現在の夫婦関係である。

家庭教育観は、生い立ちや過去に受けた教育の影響を受けながらも、親本人による意識的な取組や、夫婦関係によっても大きな影響を受けていることがうかがえる。

分類	項目	家庭教育観(実践度合計得点)との相関係数
意識	ことある毎に自らの心を正して子どもと接している	0.4850
意識	意識して良い教育観を保持できるようにしている	0.3768
結婚生活	夫婦仲は良い方だ	0.3292
関係	パートナー(夫)の家庭教育観の影響を受けている	0.2579
その他	自分は長幼の序、上下の序を厳しく躰けられた	0.2340
その他	両親は祖父母を大事にしていた	0.2335
その他	自分は家の手伝いをよくしていた	0.2312
生い立ち	自分のはのびのびと育てられた	0.2286
意識	自らの宗教観をもとに子どもと向き合っている	0.2280
生い立ち	自分は分け隔てなく育てられた	0.2280
関係	周りの助言者(血縁者・友人等)の影響を受けている	0.2199
経験	自分の親の家庭教育観の影響を受けている	0.2055
結婚生活	夫とは教育観が合う	0.2043
生い立ち	父母の仲は良かった	0.1789
関係	地域の慣習、世間体の影響を受けている	0.1746
経験	自分が親にされたことを子どもにしている	0.1669
関係	学校及び教師の影響を受けている	0.1541
経験	育児書、マスメディア等の情報の影響を受けている	0.1225
その他	結婚前に赤ちゃんを抱いたことがある	0.1193
生い立ち	幼いころ祖父母と同居していた	0.0673